

# ほけんしつだより 3月号

保護者のみなさまへ

令和8年3月5日発行 No.9

八鹿小学校 保健室

## 令和7年度学校保健委員会の報告

去る2月17日(火)学校保健委員会を開催いたしました。  
概要を報告させていただきます。

<出席者>

内科校医: 國屋正史

歯科校医: 西村 齒科 原 真理

学校薬剤師: 川瀬 章

PTA 役員: 会長、副会長

学校職員: 校長・教頭・保健担当・

体育担当・食育担当(兼)

<八鹿小学校の子どもたちの健康状況 報告>

◆女子の肥満の出現率が市内平均より高い状況が続いている。

◆視力は以前は全国の値と比べて良かったが、悪い方に

近づいている。特に1年生は同水準まで低下した。

◆むし歯になっていない率(健全歯者率)は58.8%と

今までで一番良い結果になったが全国の状況にはまだ及ばない。本校は**未処置者の割合が多い**。また、歯・口腔状況が良い児童と悪い児童の**二極化**が見られる。



◆**体力テスト**の結果は、全般的に全国平均を下回っている。姿勢の悪さも身体の硬さに起因しているのではないかと考えている。**よく運動をする集団としない集団の二極化**が見られる。遊びを通じて体力をつけられるように、児童会がドッジボール大会やおにごっこを企画したりして、**皆が楽しく身体を動かす機会を増やそうと努力している。**

◆**情報機器**を毎日1時間以上利用している児童は全校平均で53%。だんだん長くなる傾向にある。使用する時間の上限など、**約束を決めていない家庭が12%**ある。(昨年度より4ポイント改善)

◆出会ったことのない人とメールやオンラインゲームでやりとりをしたことがある児童は8名いた。幸い重大なトラブルは今のところ把握していない。

◆目を守る使い方や、ネットマナー、情報モラルの指導など、デジタル機器のより良い使い方を家庭の協力のもとで継続して指導していきたい。

◆食育について、児童の実態調査をもとに、「**朝食をレベルアップしよう**」と働きかけた。夏休みの課題では3つの食品群が揃った朝ごはんを考えて作ろうと前向きに取り組んだ児童が多かった。保護者のご協力に感謝したい。

<意見交換・感想・指導事項> (抜粋)

保護者の立場より

◎遊びが変化している。数名が屋外にいてもゲーム機で遊んでいる。「時代」なのかなと思う。

◎夏の暑さが厳しく、熱中症のリスクからバス通学を希望したり、自家用車で送迎したりする向きもあるが、我が子には歩いて登下校させたい。

◎良い姿勢でいるように注意するのは、家庭・保護者の役割だと思う。

- ◎我が子は外遊びが好きだが、不審者や熊の出没情報があり、安全面で不安がある。
- ◎夏休みに「親子でチャレンジ 朝食クッキング」を企画してもらったことが良かった。子どもは少しでも栄養バランスの良い朝食を作ろうとがんばっていた。親も時間的な余裕をもって一緒にチャレンジできた。
- ◎身近な子どもたちは“ゲーム機で遊ぶ”と“外で身体を動かす遊び”のメリハリをつけているようだが…。

#### 校医等指導助言

- ◎昔は遊びは野放しで危険でもあった。今は安全を第一にせざるを得ない。
- ◎勉強すれば視力は低下する。しかしゲームで悪くするのは残念。遊びと勉強のメリハリをつけて過ごさせたい。ダラダラと過ごすのが一番良くない。
- ◎肥満体型を個性と捉えたり、不登校も「学校以外の選択肢があって良い」のではないかとも思う。
- ◎昔はこのあたりの子どもは全国と比べて体格が劣っているというコンプレックスがあった。今は遜色ない。また、今は安全面の配慮があり、人権意識は向上し、良い世の中である。
  
- ◎健全歯率は20年前に比べて本当に良くなった。しかし未治療が20%もあるのが残念。歯・口のケアに熱心な家庭と放置している家庭と二極化を感じる。  
永久歯は生えていきなり強いわけではない。学童期にしっかりとケアして、強く育てるものと認識してほしい。そのためにも乳歯のう歯は早く治療する必要がある。
- ◎スマホやタブレット端末を使うことが日常化しているが、何か打ち込めるものがあれば心身に良い影響を与えると期待出来る。
- ◎不登校と不安症・うつの研修会に参加したが、身体を動かすことが心にも良い影響を及ぼし、心の不調を防ぐ手段になると聞いた。
  
- ◎環境衛生検査の結果、空気中の二酸化炭素濃度や照度は基準内であった。今年度は極寒期を選んで検査したが、換気も問題なく、照度検査の結果は数年前に照明器具がLEDに交換されたことで効果が出ている。しかし廊下の端の方や北側の校舎など、薄暗いと感じるところはまだある。
- ◎手洗い場の下スペースについては昨年度から改善されているが、新館の1階の床板が傷んでいてブカブカしていた。安全・衛生の両面からかなり問題と感じる。早急な対応をお願いしたい。

外でたくさん身体を動かすと健康に良いことは明らかなのに、それが出来ないもどかしさがあります。

大きな危険は回避しなければなりません。身を守るすべを学ぶためにも、子どもたちにはできるだけたくさん遊びや運動を経験してほしいと思います。

保護者の皆様には、一年間、学校からの様々な提案や依頼に応えていただきました。お忙しい中でもご理解・ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

子どもたちの健やかな育ちのために、学校と家庭、さらには地域の皆様との連携を深めていくことが必要不可欠です。今後ともご理解・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。

